

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成19年7月19日(2007.7.19)

【公開番号】特開2006-233228(P2006-233228A)

【公開日】平成18年9月7日(2006.9.7)

【年通号数】公開・登録公報2006-035

【出願番号】特願2006-158497(P2006-158497)

【国際特許分類】

C 0 8 L 101/00 (2006.01)

C 0 8 K 5/09 (2006.01)

C 0 8 K 5/544 (2006.01)

C 0 8 J 3/24 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 101/00

C 0 8 K 5/09

C 0 8 K 5/544

C 0 8 J 3/24 C E R A

C 0 8 J 3/24 C E Z

【手続補正書】

【提出日】平成19年6月5日(2007.6.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

次の：

- a. 第1重合体、
- b. 第2重合体、
- c. カルボン酸無水物、および
- d. アミノシラン、

の反応生成物を含んでなり、前記酸無水物が、前記アミノシランの添加に先立って、前記重合体の一つにグラフトされるか、または共重合されており、そしてゲル含有量が、10～50重量%の間である組成物。

【請求項2】

前記酸無水物が、ラジカル発生剤の存在下で、その重合体にグラフトされている、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

前記酸無水物が、第1重合体中の共単量体である、請求項1に記載の組成物。

【請求項4】

前記アミノシランが、第1アミンを含んでいる、請求項1に記載の組成物。

【請求項5】

前記アミノシランが、式： $YNHBSi(OR)_a(X)_{3-a}$ 、で示され、式中、 $a=1\sim 3$ ；Yは、水素、アルキル、アルケニル、ヒドロキシアルキル、アルカリール、アルキルシリル、アルキルアミン、 $C(=O)OR$ または $C(=O)NR$ であり；Rは、アシル、アルキル、アリールもしくは、アルカリールであり；XはRまたはハロゲンであり；Bは、二価の橋架け性の基である、請求項1に記載の組成物。

【請求項 6】

前記二価の橋架け性の基が、分岐していても、または環状でもよい、そしてヘテロ原子橋を含んでいてもよいアルキレンである、請求項 5 に記載の組成物。

【請求項 7】

少なくとも二種の異なるアミノシランが存在する、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 8】

少なくとも二種の異なる酸無水物が存在する、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 9】

次の：

a. カルボン酸無水物とグラフト重合もしくは共重合されている第 1 重合体を、第 2 重合体とブレンドする工程；および

b. 工程 (a) の混合物をアミノシランと反応させる工程；および

c. 工程 (b) の生成物を橋架けする工程、
を含んでなる方法。

【請求項 10】

前記第 1 重合体が、ラジカル発生剤の存在下で不飽和カルボン酸無水物とグラフト重合される、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】

前記二種の重合体が酸無水物のグラフトに先立って混合される、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 12】

前記第 1 重合体が不飽和カルボン酸無水物の共重合体である、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 13】

前記二種の重合体が、前記第 1 重合体が前記不飽和カルボン酸無水物とグラフトされた後にブレンドされる、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 14】

前記二種の重合体が、一つの混練用押出成形機中で、一工程で反応され、そしてブレンドされる、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 15】

前記アミノシランが、式： $\text{YNHBSi}(\text{OR})_a(\text{X})_{3-a}$ 、で示され、式中、 $a = 1 \sim 3$ ；Y は、水素、アルキル、アルケニル、ヒドロキシアルキル、アルカリール、アルキルシリル、アルキルアミン、 $\text{C}(=\text{O})\text{OR}$ または $\text{C}(=\text{O})\text{NR}$ であり；R は、アシル、アルキル、アリールもしくは、アルカリールであり；X は R またはハロゲンであり；B は、二価の橋架け性の基である、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 16】

前記二価の橋架け性の基が、分岐していても、または環状でもよい、そしてヘテロ原子橋を含んでいてもよいアルキレンである、請求項 15 に記載の方法。

【請求項 17】

次の：

(a) 重合体に酸無水物を添加する工程、

(b) 工程 (a) の生成物を加熱して、その重合体を融解させる工程、

(c) 工程 (a) の生成物にアミノシランを添加する工程、および、

(d) 工程 (b) の生成物を橋架けする工程；

を含んでなる方法。